

世代を超えて伝えよう

平和への願い

わたしたち日本国民は、8月15日を「終戦記念日」と定め、戦争の悲劇を忘れることなく、これを二度と繰り返すまいと固く誓いました。市では、核兵器の廃絶や恒久平和を願い「非核平和都市宣言」・「世界連邦平和都市宣言」の2つの平和都市宣言を行っています。また毎年、平和のシンボル折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を実施しています。

成田市は 平和都市宣言のまち

わが国は世界で唯一の核被爆国です。昭和20年8月に広島・長崎へ投下された原子爆弾は、一瞬にして数十万の人命を奪い去りました。

市では、非核三原則（日本は核兵器を持たず、作らず、持ち込まず）が完全実施されることを願い、核兵器の廃絶、恒久平和確立のため、太平洋戦争終結から50年目という節目の年に当たる平成7年2月21日に「非核平和都市」を宣言しました。

また、自ら永遠の平和都市となることを誓い、昭和33年10月31日

折り鶴平和使節団
団員からひとこと



市内の11人の中学生で折り鶴平和使節団を結成

○石川智大さん（成田中学校）：事前に原爆の恐ろしさなどを学習し、長崎に行きたいです。

○川原雛さん（遠山中学校）：二度と原爆の悲劇が繰り返されないように、たくさん学んできたいです。

○鈴木彩華さん（久住中学校）：被爆地を訪れ、被爆した人々が感じたことを私も感じ取れるようにしたいです。

○長谷川準さん（西中学校）：市の



広島市に投下された原子爆弾によるキノコ雲（展示パネルから）

夏休みに 平和への願いを込めて

広島・長崎 被爆写真展

市では「広島・長崎 被爆写真展」を次の通り開催しています。この展示会では、平和の尊さと核兵器の廃絶をテーマに、原子爆弾投下直後の広島・長崎の惨状を記録した写真のパネル約40点が展示されます。

会場と日時

- 市役所1階ロビー…8月6日(火)まで 午前8時30分～午後5時
 - ボンベルタ成田店4階レストラン街…8月7日(水)～15日(木) 午前10時～午後7時
- ※パネルの貸し出しも行っていきます。くわしくは広報課国際交流室(☎20-1503)へ。



原子爆弾の悲劇を伝えるパネルを展示(市役所1階ロビー)

星空映画会

日時=8月31日(土) 午後6時20分～8時50分(模擬店は午後5時から)

会場=赤坂公園芝生広場(雨天時は西中学校体育館)

内容=「シュガー・ラッシュ」、「ひろしまのエノキ」(平和教育映画)

参加費=無料

※くわしくは市青少年相談員連絡協議会ニュータウン地区・永井さん(☎090-4836-7596)へ。

- 篠塚祐里さん(大栄中学校)：平和とは何か、戦争とは何だったのかについてくわしく調べ、たくさんの人たちに知ってもらいたいです。
- 松本奈那さん(公津の杜中学校)：長崎では、原爆の恐ろしさ、平和の大切さをくわしく学びたいです。
- 三橋武尊さん(成田高校付属中学校)：使節団に選ばれ、とてもうれしいです。長崎で戦争や平和とは何かについて、しっかりと学び考えてきたいと思っています。
- 眞壁希さん(中台中学校)：長崎では、学校の代表として責任を持って行動したいです。
- 雅楽川真希さん(吾妻中学校)：全ては無理だとしても、原爆の恐ろしさや、長崎で経験したことをみんなに伝えたいです。
- 川上慧さん(玉造中学校)：長崎に行つて平和についてしっかりと理解し、将来少しでも平和に貢献できるようにしたいです。
- 寺嶋奏音さん(下総中学校)：平和の尊さを考えながら長崎に行きたいです。

に「世界連邦平和都市」の宣言もしています。

平和への祈りを広島・長崎へ 折り鶴平和プロジェクト

市では、市民が手作りした折り鶴を広島・長崎に届ける「折り鶴平和プロジェクト」を実施しています。

これは、核兵器の廃絶を掲げる地方自治体で構成される「平和市長会議」に、平成21年3月に加盟したことをきっかけに、新たな平和啓発活動として取り組んでいるものです。

今年、市内11中学校の全校生徒の手で折られた鶴をはじめ、市民の皆さんから、数多くの折り鶴が市に寄せられ、大勢のボランティアによって千羽鶴に束ねられました。

平和への思いを届けに 折り鶴平和使節団を結成

市では、「千羽鶴出発式」を8月2日(金)午前10時から市役所1階ロビーで行い、千羽鶴を広島・長崎に届けます。

また、市内11中学校の生徒の代表11人(全て2年生)で構成され

る「折り鶴平和使節団」が、8月8日(木)・10日(土)に長崎市を訪問し、9日(金)に同市で開催される「長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」において、千羽鶴を供えます。

「折り鶴平和使節団」は、「折り鶴平和プロジェクト」の一環として、次代を担う中学生を被爆地に派遣することで、平和の尊さや戦争の悲惨さを学んでもらおうと、今年5月に結成されたものです。団員が被爆地で経験したことを、同じ学校の生徒をはじめ多くの市民に伝えてもらうことで、市民の皆さんの平和に対する意識の



昨年の出発式前に展示された千羽鶴

高まりにつながることが期待されます。

※くわしくは広報課国際交流室(☎20-1503)へ。